

発議案第7号

平成27年9月7日

市原市議会議長 二田口 雄 様

提出者	市原市議会議員	保坂好則	⑩
賛成者	市原市議会議員	大曾根友三	⑩
	同	斉藤直樹	⑩
	同	水野義之	⑩
	同	西松茂治	⑩
	同	宮国克明	⑩
	同	小沢美佳	⑩

議案の提出について

下記の議案を別紙のとおり、会議規則第14条第1項の規定により提出します。

記

- 1 安全保障法制の国会審議に最大限の努力を求める意見書について

安全保障法制の国会審議に最大限の努力を求める意見書

現在、国会において「平和安全法制整備法案」及び「国際平和支援法案」が審議されているが、この2法案は日本の平和と安全の在り方に関わる重要な内容を含んでおり、国民が重大な関心を持って注視している。

よって政府においては、「我が国の平和と安全」と「国際社会の平和と安全」を将来にわたってより一層確保することはもちろん、国会審議において国民の理解を得るための最大限の努力を求める。

以上、地方自治法第99条の規定により意見書を提出する。

(理 由)

国会審議において国民の理解を得るための最大限の努力を求めるため。

(提出先)

内閣総理大臣 参議院議長